

## 2023年度愛知県への要望事項

### 小牧商工会議所

要望項目	要 望 の 内 容
<p>1. 県営名古屋空港の活性化と機能向上について</p>	<p>県営名古屋空港は、コミュニター機・ビジネス機の中部地区拠点空港としての機能を有するとともに、国内観光において東海地区尾張地域の玄関口としての機能の一端を担い、さらには震災等災害時にセントレアが打撃を受けた際の代替機能も求められるなど、ビジネス、国内観光、災害時対応で大変重要な役割を有しています。</p> <p>観光面においては昨年11月に待望のジブリパークが開園し、新エリアの開園を控え、県営名古屋空港が今後さらに全国から多くの来場者を迎え入れる拠点の一つとなることが望まれます。また、長年、東尾張ブロック会として要望してまいりました北海道丘珠便就航が本年3月に実現したことも相まって、当地区への訴求効果の高まりが大いに期待されます。</p> <p>こうした状況の中、空港隣接地への中部圏基幹的広域防災拠点整備計画、空港利用者の利便性向上、空港維持のために無くてはならない就航航空会社支援等の観点から以下を要望致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中部圏基幹的広域防災拠点に対応した空港関連整備及び周辺道路整備</li> <li>(2) 震災等災害時に沿岸部にあるセントレアが打撃を受けた際の代替機能の向上</li> <li>(3) 既存就航先においてニーズが高い就航路線の増便、さらに、需要が見込まれる沖縄便、鹿児島便など新たな就航路線の拡大</li> <li>(4) ジブリパーク来場者の拠点としての空港利用機会増加策の推進</li> <li>(5) 空港へのアクセスのさらなる充実（バス路線の増便など）</li> <li>(6) 着陸料等使用料軽減措置の延長</li> </ol>
<p>2. 名古屋高速11号小牧線小牧北口の渋滞緩和策について</p>	<p>国道41号線名濃バイパス小牧市村中から犬山市五郎丸までの6車線化工事が2023年度までに段階的に整備される中、東名・名神高速道路の小牧インターチェンジ周辺の大幅な渋滞は解消されたものの、依然として名古屋高速11号小牧線の北向き最終出口である小牧北出口では慢性的渋滞が発生しております。</p> <p>また、県営名古屋空港隣接地に中部圏基幹的広域防災拠点が設置される計画ですが、名古屋高速11号小牧線は、国道41号線とともに同防災拠点運営上の重要な機能を果たす道路と位置付けることができ、有事の際はいち早く災害物資運搬等も行われると推察されます。</p> <p>つきましては、沿線の企業活動への寄与と災害発生時への対応に鑑み、渋滞緩和策として名古屋高速道路を更に北へ延伸し、新たな出入口の設置を要望致します。</p>

<p>3. リニア中央新幹線開通に向けた名古屋駅へのアクセス向上について</p>	<p>リニア中央新幹線が、2027年に東京～名古屋間（所要時間：約40分）、2037年には名古屋～大阪間（所要時間：約27分）が開業する予定であり、名古屋駅から東京や大阪など大都市圏へのアクセス時間が大幅に短縮されることになります。公共交通機関である名鉄小牧線と名古屋市営地下鉄を利用しての小牧駅から名古屋駅までのアクセスとして、50分弱（平安通駅および東山線栄駅あるいは桜通線久屋大通駅での2回の乗換えが必要）の移動時間となっています。</p> <p>そこで、令和4年1月の運輸政策審議会の答申でAランクに位置付けられている「名古屋市営地下鉄上飯田線平安通駅以南の整備（特に、名古屋駅までの乗り換え回数減少に寄与する名古屋市営地下鉄東山線新栄町駅への接続計画）」は、リニア中央新幹線の開業に向けて名古屋駅までのアクセス向上による移動時間の短縮が図られることで、周辺地域の発展と産業振興にも寄与すると考えられます。</p> <p>つきましては、地下鉄上飯田線の名古屋駅までの乗り換え回数の減少に寄与する東山線または桜通線への接続に関し、より実現性のある事業手法等により、早期に整備されるよう要望致します。</p>
--	--